令和７年度　課題探究GS最終発表会　発表概要

班	タイトル	活動内容の説明文（150～200字）
1	**能勢分校農場から魅力発信 ～特産品開発で地域活性化～**	特産品開発　ソーセージ作成　鶏を捌く授業があって鶏のお肉が多く余っていることを知り鶏を使ってソーセージ を作っている。横山ハム工房に協力してもらいソーセージを作っています。文化祭でホットドッグとして６０食分用意して販売することができ６０食全て売ることができました。将来的にはソーセージだけで販売をしたい
2	**チキトラ大作戦!**	私達はチキントラクターという移動式の鶏小屋を用いた耕作放棄地の活用や、能勢町の特産品である菊炭を使用した菊炭飼料の開発に取り組んでいます。現在はチキントラクターの試作品を制作し、学校農場で試運用をしたり、菊炭入り飼料を与えた鶏の卵の卵質調査などを行っています。普段学んでいる畜産を生かした地域の活性化を目標として、日々農場での活動を行っています。
3	**能勢栗の魅力発信**	私たちは、SNSなどを使って、能勢ぐりの現状や魅力を伝えることができるのではないかと考えました。すでに能勢で様々な方が栗について情報発信していますが、私たちも農場で「銀寄」栗を栽培しているので、その様子や生産者の方に取材したことを発信すれば、栗に関する情報が増え、より関心を持つ人や関わる人を増やせるのではないかと思っています。現在は、農場の栗の様子をインスタグラムに投稿しています。
4	**のせのたねプロジェクト ～のせを知ってもらうために～**	能勢の子供達に、能勢のことについて知ってもらおうという目的で活動しています。地域の課題として、子供達の能勢についての知識の不足、加えて地元愛の不足などが挙げられると感じました。子供達が能勢について知っていないと、地元についての関心が薄くなり、地域の交流が減るだけでなく人口流出の問題にも繋がってしまいます。ですから、かるた形式で楽しく子供に学んでもらいたいという風に考えました。
5	**大阪のてっぺん元気にしよう計画 ～人の流れを能勢に～**	「能勢町内外問わず魅力を伝える」を目標に、能勢町の芸術文化祭に参加し、企画の提案や運営を行いました。自分たちの力でどれだけ地域の魅力を発信できるかを考えながら取り組み、来場者に楽しんでもらえる工夫を班で話し合いました。
6	**歩いて学ぶ能勢の魅力**	私達探究１班は能勢町の観光面での活性化と年々減廃便を繰り返している能勢町の公共交通機関の利用者増加を目指し、能勢町の魅力を伝える観光マップとバス停の乗り降りだけで楽しめる観光ルートを制作しています。現在能勢町観光協会様と協力し、町外の観光客に向けて制作中です。また、能勢町役場が運営している町営バスが現在観光目的での利用ができない状態であるので、観光客が利用できるように役場に向けてアプローチしようと挑戦しています。
7	**増やせ！のせ校生!**	私たち探究班は、能勢分校の入学者数を増やしたい！そして学校に通いづらい中学生にも能勢分校を知ってほしい！という想いをもって活動しています。 今まで、施設の方にお話を聞きに行ったり、自分たちでポスターやサイトを作ったり、学校説明会で私たちの活動を発信したりしてきました。 私たちは今、能勢分校を発信する方法を探っています！ これを読んだあなたもぜひ、私たちの大好きな能勢分校を広めてください!